

とうきょう すくわくプログラム活動

園名	杉並大宙みたけ保育園
活動日時	令和6年6月26日
クラス名(年齢)	3、4、5歳児 異年齢クラス
活動テーマ	自然との関わり

<テーマの設定理由>

昨年度に園庭の整備を行い、園庭中央に樹木や荒木田土を使用した築山を設置し、土や草木、畑の整備等、環境を改善したところ子どもたちの遊びに変化が見られた。以前よりも自然物に興味を持ち、職員や友だち同士での対話や関わりが増えたので、子どもたちの遊びの中心である園庭での自然をテーマとして探求活動を進めた。

1、活動スケジュール

- ・土、砂に触れてみよう（各30分）

2、活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- ・カップ、バケツ、シャベル
- ・水
- ・子どもたちが活動しやすいよう周りの玩具を片づけ環境を整えた。

3、探求活動の実践（活動内容）

- ・園庭の砂場の砂や築山の土に触れ、自由に遊ぶ
- ・土や砂に触れ、色や重さ、感触の違いに気付く
- ・容器に土や砂を入れたり、自由に形を作ってみる

<活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり>

子どもの言葉・姿	写真
<p>・「さらさらする」「こっちはどろどろだよ」と土や砂に触った感触を嬉しそうに伝えてきた。</p>	
<p>・容器に土や泥を入れ、並べる</p> <p>・友だちや保育士にできたものを見せる</p>	
<p>・砂や泥の重さや色の違いなど子どもたちが気づき、伝えてきた。</p>	
<p>・園庭に落ちていた木の枝を見つけてお団子にたくさん差し、食べやすいように見立てて作りあげていた。</p>	

4、振り返り(振り返りによって得た保育者の気づき)

荒木田土や砂に触れる中で、子どもたちが感触の心地良さに喜びの表情を浮かべ、色や重さ、感触の違いなど気づいたことを発信する姿が見られた。周りにある容器や道具を使ってイメージしたもの(泥団子)を作り上げたり、水を使うと感触や形が変化していく様子を友だちや保育者と対話を通じて共有していた。今後も季節の変化を通じてさまざまな探求活動をすすめていく